

土地の所在

高松市仏生山町字荒甲2710-1、甲2710-3、甲2711、甲2712-2、甲2713、甲2723、甲2724、甲2725、甲2726、甲2727及び地先農道・水路

# 土地利用計画図 変更後

非線引都市計画区域  
用途白地地域：特定用途制限地域 一般・環境保全型  
予定建築物の用途：一戸建ての住宅

凡例

○	雨水最終樹 350 (泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下)
○	VU 150 i=1%
—	引込管V P 2.0 メータ13mm
→	流水方向
○	開発区域
□	FV側溝 (自由勾配側溝300)
□	グレーチング T-20
■	L型側溝及び街渠樹 (重圧管 150 i=1%)

側溝樹 先	
水路天	49.150
計画管底	48.280
通常水位	48.270
水路底	48.270
管種	重圧管300
管勾配	1%
管延長	1.45m

放流先	
水路天	48.630
計画管底	48.222
通常水位	48.180
水路底	48.130
管種	HP300
管勾配	2%
管延長	1.43m

T1 X=141075.982  
Y= 50572.599  
Z= 48.500  
TP = 48.500

T6 X=141020.854  
Y= 50553.976  
Z= 49.930

T8 X=140957.830  
Y= 50532.061

放流先	
水路天	48.650
計画管底	48.007
通常水位	47.850
水路底	47.800
管種	重圧管250
管勾配	1%
管延長	7.29m

T5 X=141072.317  
Y= 50554.495

放流先	
水路天	49.214
計画管底	48.694
通常水位	48.336
水路底	48.336
管種	重圧管250
管勾配	1%
管延長	0.60m

放流先	
水路天	48.810
計画管底	48.840
通常水位	48.410
水路底	48.410
管種	HP250

- (注記)
- ・地表水を集水する樹はグレーチング又は穴空きを設置すること。
  - ・地表水及び排水を集水する樹は泥溜を15cm以上確保すること。
  - ・埋設管の交差箇所は30cmのクリアランスを設ける。ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低10cmとする。
  - ・画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
  - ・画地内の整地は最終樹に表面雨水が集水するよう仕上げる。
  - ・L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないよう施工する。
  - ・開発協議は最終樹から一次放流先までとする。
  - ・区画内からの汚水は、合併処理浄化槽から宅内最終樹を経由して開発道路内のFV側溝へ排水し、その後、一次放流先である法定外水路へ放流する。
  - ・床版グレーチングはT-20、街渠樹グレーチングはT-14とする。
  - ・合併浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流する。
  - ・宅内の排水管は土被りを25cm以上確保して敷設すること。

縮尺 1/400

開発許可  
年月日

第 平 成

年 月 日

号 日

申請者

株式会社アルファード

代表取締役 七條政利

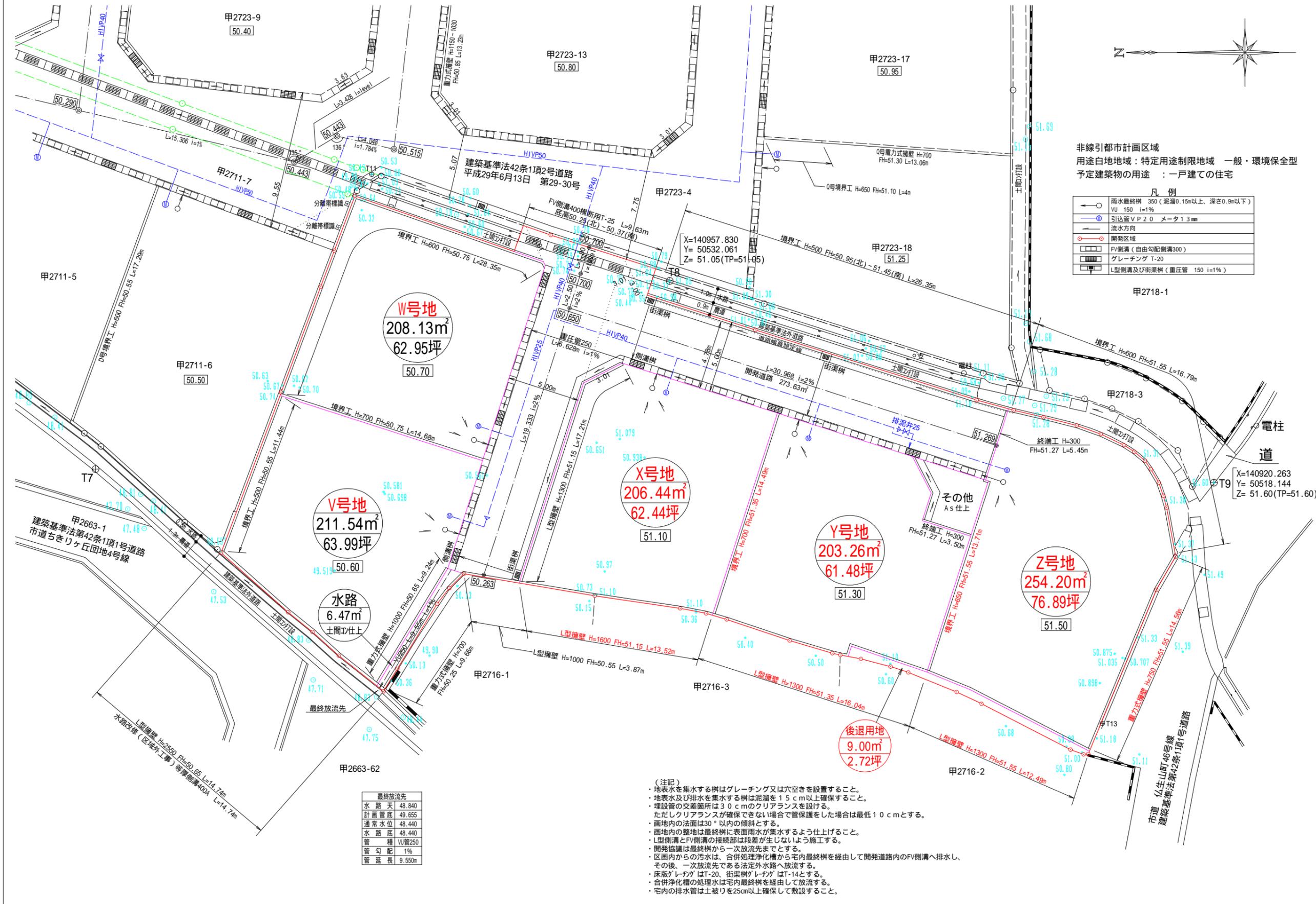
申請者

土地の所在

高松市仏生山町字荒甲2712-1、甲2715、甲2717及び地先農道・水路

# 土地利用計画図

変更後



開発許可  
年月日

第 平

年

月

日

申請者

株式会社  
アルファード  
代表取締役  
七條政志

作成者  
住所・氏名

高松市伏石町二七四番地一五  
行政書士 松澤人史 (印)

縮尺 1/250

- (注記)
- ・地表水を集水する樹はグレーチング又は穴空きを設置すること。
  - ・地表水及び排水を集水する樹は泥溜を1.5cm以上確保すること。
  - ・埋設管の交差箇所は3.0cmのクリアランスを設ける。
  - ・ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低1.0cmとする。
  - ・画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
  - ・画地内の整地は最終樹に表面雨水が集水するように仕上げること。
  - ・L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないように施工する。
  - ・開発協議は最終樹から一次放流先までとする。
  - ・区画内からの汚水は、合併処理浄化槽から宅内最終樹を経由して開発道路内のFV側溝へ排水し、その後、一次放流先である法定外水路へ放流する。
  - ・床版グレーチングはT-20、街渠樹グレーチングはT-14とする。
  - ・合併浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流する。
  - ・宅内の排水管は土被りを25cm以上確保して敷設すること。